

市政トピックス

オーストラリア・カウラ市訪問団が来越 4/22

市の友好都市であるオーストラリア・カウラ市のルース・フェイガン市長をはじめとする訪問団が来越し、かつての直江津捕虜収容所跡地である平和記念公園(川原町)などを訪れました。フェイガン市長は「戦争により両市で起きた悲劇を経験し、私たちは永続的な友情を築き、許しと和解を世界に示してきた。両国間に再び戦争を起こさないよう努力しましょう」と述べました。



ルース・フェイガン市長

地域外国人支援協力員が就任 5/1



通訳などを通じて外国人市民を支援する「地域外国人支援協力員」として、フィリピン出身の高橋ジョイスさんが就任しました。

中川市長は「高橋さんの活躍によって外国人の子どもたちが健やかに育ち、このまちに定着してくれることを期待しています」と話しました。

多様な「性」について考えよう③

■問合せ…人権・同和対策室 (☎025-520-5683)

性的マイノリティの人には、差別的な言動や周囲から理解を得られないことへの不安があり、自身の悩みを相談することができないなど難しい現状があります。全ての人が安心して暮らせる社会を目指して、まずは、身近に性的マイノリティの人がいると意識し、できることから始めてみませんか。



市ホームページ

一人一人にできることがあります

●差別的な言動はしない

・「ホモ」「オカマ」「レズ」といった差別的な表現は使用してはいけません。また、差別的な言動には同調せず、適切に注意したり、話題を変えたりすることも大切です。

●打ち明けられたら、話に耳を傾けましょう

・自分の性のあり方を打ち明けることを「カミングアウト」といいます。カミングアウトは、あなたを信頼しているというメッセージです。まずは、しっかりとその人の話に耳を傾けましょう。

●「アウティング」は絶対してはいけません

・本人の同意なく、その人の性のあり方を第三者に知らせることを「アウティング」といいます。その人は傷つき、精神的に追い込まれる可能性もあるので、絶対にしてはいけません。

相談窓口

●「よりそいホットライン」(24時間通話料無料)

LGBTQの人、性別に違和感のある人、その周囲の人など、どなたでも相談できます。

☎0120-279-338(ガイダンスに沿って「4」を押す。)

※人権・同和問題を考えるセミナー「LGBT超基礎講座」を開催します。詳しくは本紙14ページをご覧ください。